

四半期報告書

(第29期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社ピエトロ

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 2
- 2 事業の内容 3

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 4
- 2 経営上の重要な契約等 4
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 4

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 6
- (2) 新株予約権等の状況 6
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 6
- (4) ライツプランの内容 6
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 6
- (6) 大株主の状況 6
- (7) 議決権の状況 7

2 役員の状況 7

第4 経理の状況 8

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 11
 - 四半期連結損益計算書 11
 - 四半期連結包括利益計算書 12
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 13

2 その他 16

第二部 提出会社の保証会社等の情報 17

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ピエトロ
【英訳名】	PIETRO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 邦彦
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第28期 第2四半期 連結累計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第28期
会計期間		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	(千円)	4,940,342	4,981,810	9,660,442
経常利益	(千円)	290,136	378,625	464,321
四半期(当期)純利益	(千円)	135,027	200,521	219,632
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	133,494	202,762	227,888
純資産額	(千円)	3,158,778	3,355,295	3,253,173
総資産額	(千円)	7,538,687	7,418,847	7,444,262
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	24.16	35.86	39.29
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	41.9	45.2	43.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	413,765	216,878	672,205
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△92,736	△118,562	△202,212
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△88,490	△108,862	△384,998
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,141,188	988,534	996,702

回次		第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	15.96	19.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、各種ドレッシング・ソース等の食品の製造販売、パスタ料理をメインとしたレストランの経営を主要な事業としております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は次の通りであります。

<食品事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<通信販売事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<レストラン事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<その他（本社ビル等の賃貸）事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出企業を中心に企業の業績が改善するとともに、雇用・所得環境の持ち直しにより個人消費も緩やかに回復する状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が続くとともに、一部では高価格帯商品を求める動きもあります。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、さらなるブランド価値向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、通信販売事業とレストラン事業が減収となりましたが、食品事業が大きく伸長したことにより、49億81百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う増益とコスト管理の強化等により、営業利益は3億84百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益は3億78百万円（前年同期比30.5%増）、四半期純利益は2億円（前年同期比48.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

ブランド戦略のもと、お客様のニーズに応えるきめ細かな営業活動を展開したことから、主力ドレッシングであるオレンジキャップとカロリーを抑えたグリーンが順調に売り上げを伸ばしました。また、生タイプのドレッシングの特徴を生かした、「オリーブオイル」シリーズも好調に推移いたしました。本年9月には、たまねぎの美味しさをさらに加えた「生搾り」シリーズを新たに投入し、売上拡大を図っております。利益面では、ドレッシングアイテムを中心とした増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は33億83百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は11億6百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

<平成25年度 新商品>

発売時期	商品名
平成25年9月	ドレッシング「生搾りたまねぎオリーブオイル」 ドレッシング「生搾りたまねぎフレンチ」 ドレッシング「生搾りたまねぎと塩」 ゆでたパスタにまぜるだけ スパドレ「魚介サフラン」

②通信販売事業

通信販売限定商品として、パスタソース、スープ、フローズンヨーグルトなどの新商品を投入し品揃えの充実を図ったことから、夏のギフト商品が好調に推移いたしました。また、ダイレクトメール等による効果的な販促活動を実施し、購入頻度の増加に努めましたが、取扱商品の変更等があったことから減収となりました。

以上の結果、売上高は1億6百万円（前年同期比66.1%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

<平成25年度 通信販売新商品>

発売時期	商品名
平成25年4月	村田厨房直送便「春便り」
平成25年5月	パスタソース「海老のクリームソース ビスク仕立て」
平成25年6月	フローズンヨーグルト（4種）
平成25年7月	スープ「能古島の完熟トマトの冷製スープ」 スープ「能古島のたまねぎ酢のサンラータン」 村田厨房直送便「夏便り」
平成25年9月	スープ「熊本産牛ばら肉と5種野菜のコンソメスープ」 スープ「緑の野菜のチャウダー」（リニューアル）

③ レストラン事業

「冷製パスタフェア」や「カルボナーラフェア」をはじめ、旬の食材を取り入れた季節ごとのフェアは毎年ご好評をいただいております。また、ピエトロオリジナルの「イタリー麺」につきましても、バリエーションを広げるなど、お客様に楽しんでいただけるメニューのご提供に注力してまいりました。さらに、「ピエトロクラブ」会員様向けの販促を実施して、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高につきましては既存店が前年を上回ったものの、店舗数の減少により14億13百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

<平成25年度 レストラン 季節のメニュー>

発売時期	商品名
平成25年4月	春野菜フェア
平成25年4月～8月	冷製パスタフェア 夏のイタリー麺
平成25年6月～8月	氷イタリー麺（一部のミオミオ店舗限定）
平成25年9月	秋のカルボナーラフェア

④ その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は78百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、74億18百万円となりました。これは主に売掛金が1億28百万円減少する一方、現金及び預金（長期預金を含む）が46百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少し、40億63百万円となりました。これは未払金が1億15百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、33億55百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益2億円の計上によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、9億88百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、食品事業において主力ドレッシングの販売が好調だった為、税金等調整前四半期純利益が3億83百万円計上されましたが、未払金の減少や法人税等の支払いの増加等により前年同四半期に比べ1億96百万円減の2億16百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入の減少などから1億18百万円の支出となり、前年同四半期に比べ25百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、新たに長期借入を行った一方、長期借入金の返済による支出があったことなどにより1億8百万円の支出となり、前年同四半期に比べ20百万円の支出増となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は販売費及び一般管理費に含まれており、その総額は29百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,591,630	5,591,630	東京証券取引所市場第二部	単元株式数100株
計	5,591,630	5,591,630	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	5,591,630	—	474,400	—	516,922

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
村田 邦彦	福岡市南区	1,523	27.24
日清オイリオグループ株式会社	東京都中央区新川1丁目23番1号	1,120	20.02
西川 啓子	福岡市西区	374	6.69
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	203	3.63
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13番1号	70	1.25
ビエトロ従業員持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	65	1.17
ビエトロ取引先持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	64	1.14
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	52	0.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	35	0.62
株式会社トーヨーフードサービス	神戸市東灘区向洋町西5丁目9番	35	0.62
計	—	3,543	63.37

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 400	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 5,590,100	55,901	—
単元未満株式	普通株式 1,130	—	1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,591,630	—	—
総株主の議決権	—	55,901	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式97株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社ピエトロ	福岡市中央区天神 三丁目4番5号	400	—	400	0.01
計	—	400	—	400	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,119,667	1,050,918
預け金	62,883	38,465
売掛金	1,209,894	1,081,194
商品及び製品	93,205	112,341
仕掛品	3,424	3,861
原材料及び貯蔵品	114,127	115,733
繰延税金資産	35,313	35,891
その他	107,669	179,136
貸倒引当金	△445	△1,432
流動資産合計	2,745,739	2,616,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,557,792	1,511,189
土地	2,006,202	2,006,202
その他（純額）	201,174	207,951
有形固定資産合計	3,765,168	3,725,343
無形固定資産	18,004	31,455
投資その他の資産		
長期預金	—	115,000
敷金及び保証金	459,688	448,951
その他	477,795	501,781
貸倒引当金	△22,135	△19,796
投資その他の資産合計	915,348	1,045,937
固定資産合計	4,698,522	4,802,736
資産合計	7,444,262	7,418,847
負債の部		
流動負債		
買掛金	527,403	431,636
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	323,220	134,860
未払金	486,117	370,767
未払法人税等	169,143	191,930
賞与引当金	46,764	49,360
資産除去債務	2,151	2,173
その他	218,926	221,164
流動負債合計	3,023,726	2,651,892
固定負債		
長期借入金	392,871	601,682
退職給付引当金	62,812	61,827
役員退職慰労引当金	495,359	551,429
資産除去債務	46,475	46,920
その他	169,843	149,801
固定負債合計	1,167,362	1,411,659
負債合計	4,191,088	4,063,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,252,024	2,351,906
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,242,897	3,342,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,116	14,425
為替換算調整勘定	△1,845	△1,908
その他の包括利益累計額合計	10,270	12,516
少数株主持分	5	—
純資産合計	3,253,173	3,355,295
負債純資産合計	7,444,262	7,418,847

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,940,342	4,981,810
売上原価	2,076,586	2,036,986
売上総利益	2,863,756	2,944,823
販売費及び一般管理費	※1 2,562,909	※1 2,560,369
営業利益	300,846	384,454
営業外収益		
受取利息	106	120
受取配当金	729	703
為替差益	—	2,206
貸倒引当金戻入額	261	—
その他	1,433	1,153
営業外収益合計	2,531	4,184
営業外費用		
支払利息	7,793	6,770
シンジケートローン手数料	3,063	3,155
その他	2,384	87
営業外費用合計	13,241	10,013
経常利益	290,136	378,625
特別利益		
固定資産売却益	—	4,983
負ののれん発生益	1,699	—
特別利益合計	1,699	4,983
特別損失		
固定資産除却損	348	119
減損損失	1,727	—
投資有価証券評価損	6,337	—
特別損失合計	8,413	119
税金等調整前四半期純利益	283,422	383,489
法人税、住民税及び事業税	86,630	182,983
法人税等調整額	63,936	△36
法人税等合計	150,567	182,946
少数株主損益調整前四半期純利益	132,854	200,543
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,172	21
四半期純利益	135,027	200,521

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,854	200,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	2,308
為替換算調整勘定	348	△89
その他の包括利益合計	639	2,219
四半期包括利益	133,494	202,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,562	202,767
少数株主に係る四半期包括利益	△2,068	△5

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	283,422	383,489
減価償却費	91,951	92,049
減損損失	1,727	—
負ののれん発生益	△1,699	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△466	△1,352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,871	2,595
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△491	△985
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	52,662	56,070
固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,983
固定資産除却損	348	119
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,337	—
受取利息及び受取配当金	△836	△824
支払利息	7,793	6,770
売上債権の増減額 (△は増加)	109,715	129,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,158	△19,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,951	△97,031
未払金の増減額 (△は減少)	66,925	△100,247
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,264	2,174
その他	△30,925	△69,189
小計	438,489	378,052
法人税等の支払額	△24,724	△161,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	413,765	216,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△74,505	△62,904
有形固定資産の売却による収入	—	6,154
投資有価証券の取得による支出	△11,729	△1,772
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	9,357	—
敷金及び保証金の差入による支出	△36,062	—
敷金及び保証金の回収による収入	80,925	18,685
保険積立金の積立による支出	△25,779	△25,695
利息及び配当金の受取額	836	824
その他の収入	4,493	—
その他の支出	△10,271	△23,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,736	△118,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△169,684	△280,880
リース債務の返済による支出	△14,358	△20,042
自己株式の取得による支出	△33	—
自己株式の処分による収入	3,677	—
配当金の支払額	△100,090	△100,847
利息の支払額	△8,001	△7,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,490	△108,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,873	2,379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,412	△8,167
現金及び現金同等物の期首残高	906,776	996,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,141,188	※1 988,534

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販売促進費	569,397千円	617,258千円
給与手当	595,928	592,332
賞与引当金繰入額	40,384	38,789
退職給付引当金繰入額	11,755	12,195
役員退職慰労引当金繰入額	52,662	56,070

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,233,611千円	1,050,918千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△155,847	△100,849
預け金勘定	63,424	38,465
現金及び現金同等物	1,141,188	988,534

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	100,641	18	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	100,640	18	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,086,077	314,094	1,464,615	75,556	4,940,342	—	4,940,342
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,086,077	314,094	1,464,615	76,530	4,941,317	△974	4,940,342
セグメント利益 又は損失 (△)	1,031,213	△2,149	35,901	36,735	1,101,700	△800,853	300,846

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は800,853千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ(株)との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,383,443	106,326	1,413,396	78,644	4,981,810	—	4,981,810
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,383,443	106,326	1,413,396	79,618	4,982,785	△974	4,981,810
セグメント利益 又は損失 (△)	1,106,952	△28,940	27,136	39,725	1,144,873	△760,418	384,454

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は760,418千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	24円16銭	35円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	135,027	200,521
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	135,027	200,521
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,588	5,591

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 8日

株式会社ピエトロ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小渕 輝生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 次男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピエトロの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピエトロ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。